

## 春風を受けながら、完走しました

### ～第32回こいのぼりマラソン大会～

5月5日(土)、市営陸上競技場を主会場に『第32回こいのぼりマラソン大会』(登別市子ども会育成連絡協議会主催)が行われ、夜中の雷雨が信じられないような晴天の中、参加した親子連れなど約200人は、春風を受けながらさわやかな汗を流しました。

この大会は、自分の体力に合わせたペースで走り、完走することを目的に、毎年5月5日の子どもの日に行われています。

開会式では、吹き流しと3匹のこいのぼりが子どもたちの手で同競技場の掲揚塔に掲げられました。

参加者は、3・5・7キロの3コースに分かれてスタート。ゴール直前の急坂では、「もう少しだ。がんばれ」と沿道の市民から大きな声援が送られていました。

小学生男子3キロの部で1位となった佐々木颯翔君(小学4年生)は、「初めて参加してとても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



## いい桜が咲くように

### ～お魚を殖やす植樹運動～



5月11日(金)、岡志別の森運動公園内で『お魚を殖やす植樹運動』(いぶり中央漁業協同組合登別地区女性部主催)が行われ、胆振森づくりセンターや白老森林組合、登別マリクラブなどから約100人が参加しました。

この植樹運動は、『森づくりは、水をつくり、魚を育てる事につながる』をキャッチフレーズに昭和63年度から毎年実施。これまで、亀田記念公園や川上公園などに植樹してきました。

この日植樹したのは八重桜の苗木60本で、穴を掘り、苗木を植え、強風で倒れないように添え木で固定するなどの作業を行い、2時間ほどで終了。参加者からは「いい桜が咲くといいね。つぼみがあるから、今年咲くのでは」などの声が聞こえていました。

## 自然の中で春を満喫

### ～春んるん♪コーザンまつり～

5月3日(木)から6日(日)までの4日間、ふおれすと鉱山で『春んるん♪コーザンまつり』(NPO法人モモンガくらぶ主催)が行われ、多くの参加者は楽しい時間を過ごしていました。

NPO法人モモンガくらぶは、4月からふおれすと鉱山の指定管理者となり、このコーザンまつりが初めての大きなイベントで、春の野点や花炭づくり、竹馬をつくろうなど多くの催しが行われました。

木工室で行われた木のおもちゃをつくろうでは、多くの親子がパズル作りに挑戦。糸のこを使うのに、親の方が真剣に取り組んでいたほか、コーザンかあさん食堂がオープンし、遊んでお腹をすかした親子が訪れていました。

また、もりのあそびばモンキーパークでは、たき火で使うまき割りに挑戦し、上手に割れたときには思わず笑顔がこぼれていました。

